

資料

	低学	中学	高学	中学	高学	中学	高学
道徳心	<ul style="list-style-type: none"> 友達と仲よくし、助け合う。 うそやごまかしをせず、素直に伸び伸びと生活する。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。 あやまちは素直に認め、正直に明るく元気よく生活する。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し、助け合う。 自分の特徴を知って、短所を認め長所を積極的に伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いに認め合い、様々な場面で協力し助け合う。 自己理解を深め、個性を発揮する場面を考え、自分を伸ばそうと前向きに生活する。 			
話し合いの仕方	<ul style="list-style-type: none"> 話を最後まで話し手を見て聞く。 話し合い活動では、友達の見解をよく聞いた後、自分の意見を言うようにしたりして、学校生活を楽しくするために集団決定をすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分と友達のを比べながら聞く。 話し合い活動では、異なる考えなどについてもしっかりと聞いた後、理由を明確にして意見を言うようにしたりして、楽しい学校生活を営むために、折り合いを付けて集団決定ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の意図をつかみ、自分の考えとの共通点や相違点をまきざせながら聞く。 話し合い活動では、学級のみならず学校生活にまで目を向け、自分の言葉で建設的な意見を述べ合えるようにし、多様な意見のよさを生かして、楽しい学級や学校の生活をつくるためのよりよい集団決定ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の意図を推量し、つかみながら聞く。 話し合い活動では、学級及び学校の課題を見付け互いの意見や思いを尊重しながら建設的な話し合いを進めることができ、共感的な人間関係を基盤として、よりよい集団決定ができるようにする。 			
係・当番活動	<ul style="list-style-type: none"> 係活動を当番的な活動から始め、少しずつ創意工夫がみられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 係活動では、児童の創意工夫が生かせるようないろいろな係活動として組織できるように協力し合って楽しい学級生活を営むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 係活動では、自分のよさを積極的に生かせる係に所属し、継続的に活動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 係活動や当番活動では、自分のよさを生かして、積極的・継続的に取り組む、自己有用感を高めることができるようにする。 			
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> 元気の挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々に、自ら時と場に応じた挨拶ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々に自ら進んで、時と場に応じた挨拶ができる。 			
時間	<ul style="list-style-type: none"> 時間を意識しながら行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を確認しながら行動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を守ることを基本とし、約束や社会のきまりも守る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で時間を意識しながら行動し、集団の一員として社会のきまりを守って生活する。 			
学び方	<ul style="list-style-type: none"> 正しい姿勢で学習できる。 わからないことは周りに聞いて学ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いに話し合うことにより、考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学び合いを通して、達成感や成就感とともに自分の考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学び合いを通して、多様な考えを比較・検討し、自分の考えをより深めることができる。 			
家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習を自分で行い、興味のあることを自主学習として行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の他に、自主的な学習も入れながら見通しをもって学習を進めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> やらないければならないことを自覚し、見通しもって取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の目標をもち、計画的・継続的に自主学習に取り組むことができる。 			
学習用具の準備	<ul style="list-style-type: none"> 学習用具の準備ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習用具の準備が毎日自分でできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習用具の準備が毎日自分でできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な学習用具をそろえ、3分前着席で授業に臨むことができる。 			
考える力	<ul style="list-style-type: none"> 相違点や共通点を見付け、比較しながら考える。 自分の力でわかるまで努力することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項や経験と事柄を結びつけながら関連付けて考える。 自分の力で、課題を解決しようと努力することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 予想したり、考えを他の事柄にあてはめて考えを広げたり推論したりしながら考える。 生活や学習上の課題を見付け、自分の力で解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題意識・問題意識をもってグループ学習に取り組み自己の理解を深めながら、再構築することができる。 意図的に課題を見付け、自ら考えたり、協力したりして解決しようとする。 			
ICTの活用	<ul style="list-style-type: none"> インターネットから必要な情報を選択する。 パソコンやタブレットの使い方を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真や映像などデジタル素材を使って資料をまとめる。 自分の活動の様子を録画して振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーション用ソフトを使って、発表する。 コンピュータプログラミングを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題意識・問題意識をもってグループ学習に取り組み自己の理解を深めながら、再構築することができる。 意図的に課題を見付け、自ら考えたり、協力したりして解決しようとする。 プレゼンテーション用ソフトを使って、子供が協働で資料をまとめたり、双方向での意見交換を行ったりする。 社会的な課題を考えるシミュレーションゲームなどで問題解決方法を考える。 			
あたたかい人間関係づくり【心プロジェクト】							
学カアツ【学習プロジェクト】							

(2) 9年間で育成したい力



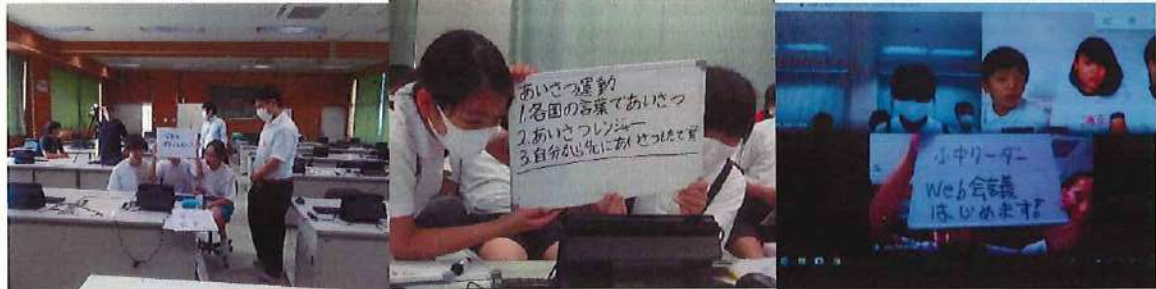

教科	国語	社会	算数・数学	理科
課題を踏まえた目標	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げられるようにする。	社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことを選択・判断したことを適切に表現したりできるようにする。	学習問題を自分の問いとして捉え、問題解決のために、解決の見通しを立てるとともに、既習事項との関連を見だし、知識及び技能の確実な習得を図る。	見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、それらを表現するなどして問題解決できるようにする。
共通の取組	ミニテースト 振り返り 辞書の活用 辞彙ノートの活用	ミニテースト 振り返り	ミニテースト 振り返り	ミニテースト 振り返り
低学年	<ul style="list-style-type: none"> 語彙力を高めるために 辞彙ノートを活用して簡単な単語を書き留めることに挑戦できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の知識の定着のために 都道府県を中心にミニテーストなどで繰り返し復習 新聞にまとめる活動 (キーワードを押さえてまとめる) 資料の活用 仕方や表・グラフの読み方の指導を意図した授業づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きでまとめる。 課題は背で囲む。 まとめは赤で囲む。 記号の使用 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きでまとめる。 問題・予想・実験方法・結果・考察・まとめ・振り返りの順で。 振り返りの仕方・・・わ・が・と・も ミニテースト 基礎・基本・理科用語の定着のために。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> 辞書の活用 辞書用のバックを全児童共通にする。 語彙力を高めるために 辞書を使って、分からない語彙を辞彙ノートにまとめられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の知識の定着のために 授業の始めや終わり・単元末ごとなどにミニテーストを行い用語の確認 資料の読み取り 資料の比較を意識して指導を行う。 資料の読み取りのポイントを焦点化し、比較や予想ができる授業づくり 	<ul style="list-style-type: none"> わ・・・分かったこと が・・・がんばったこと と・・・友達から教えてもらったこと も・・・もっと知りたいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの使い方 中学校の「ノートの取り方」を参考に、見開きで使用。 問題・予想・実験方法・結果・考察・まとめ・振り返りの順で。 振り返りの仕方・・・わ・が・と・も 中学校同様、メモ欄を設けて、先生が話したポイントや教科書のポイントなどを繋げるように。 ミニテースト 基礎・基本・理科用語の定着のために。
高学年	<ul style="list-style-type: none"> 辞書の活用 辞書を一冊用意し、机の脇にかけることで、日常的に言葉調べることができるようにする。 語彙力を高めるために 辞書を使って、分からない語彙や国語的用語を辞彙ノートにまとめられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の知識の定着のために 都道府県アスタの実施 資料の読み取り 資料の比較を意識して指導を行う。 多様な意見が出るよう、発問工夫するとともに複数の資料を比較・関連付けられることを意識した授業づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの使い方について 課題は背で囲む。 記号は使用しないが、同様の流れで行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの使い方 「ノートの取り方」に基づいて。 問題・予想・実験方法・結果・考察・まとめ・振り返りの順で。 振り返りの仕方・・・わ・が・と・も ミニテースト 予め、理科用語をピックアップし問題を配付。その中から出題。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> 辞書の活用 身近に辞書がある環境を心がけ、活用を図る。 語彙力を高めるために 言葉を大切にしたい授業 (調べた言葉や意味が分かりにくい言葉などをワークシートにまとめ、A4フイルドに綴じこんでいる。) 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の知識の定着のために 都道府県アスタの実施 資料の読み取り 資料の比較を意識して指導を行う。 多様な意見が出るよう、発問工夫するとともに複数の資料を比較・関連付けられることを意識した授業づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの使い方について 課題は背で囲む。 記号は使用しないが、同様の流れで行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの使い方 「ノートの取り方」に基づいて。 問題・予想・実験方法・結果・考察・まとめ・振り返りの順で。 振り返りの仕方・・・わ・が・と・も ミニテースト 予め、理科用語をピックアップし問題を配付。その中から出題。
目標達成した子供の姿	習得した語彙を学習や生活に活用して、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げられる。	社会的対象に対する自分の考えを表現、発表し、社会の一員としての自覚をもつことができる。	本時の学習過程の中で、学習の見通しをもち人と関わり合いながら問題解決することができる。	実験・観察を通して科学的な見方・考え方を身に付け、人と関わり合いながら問題解決することができる。

(共通事項)

教科	英語・英会話	音楽	図工・美術	技術・家庭
課題を踏まえた目標	聞くこと・話すことなどの、実践的コミュニケーション能力の基礎を養えるようにする。	表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったりできるようにする。	材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりできるようにする。作品に対して主題や表し方を感じ取りたり考えを深めたりできる。	日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けられるようにする。
共通の取組	ミニテスト 振り返り 単語の発音練習	ミニテスト 楽譜の読み方	用具の使い方	自己評価カード
低学年	○ 小学校で身に付けるべき基本 (発音、ローマ字、アルファベットの定着) ・単語の発音を聞いて、話せるようにする。	○ 音の高低が分かる。 ・音の風船を掲示する。	○ 材料や用具・表し方・発想や構想、作品に対する見方や感じ方で身に付ける事項 ・水彩絵の具が使える。	
中学年	○ 小学校で身に付けるべき基本 (発音、ローマ字、アルファベットの定着) ・ローマ字の定着 ・簡単な日常会話ができるようにする。	○ 楽譜に親しむ。 ・階名唱ができる。 ・音階を掲示する。(ハ長調)	○ 材料や用具・表し方・発想や構想、作品に対する見方や感じ方で身に付ける事項 ・表したいことを見付け、その表し方を考えられる。 ・小刀(カッター)彫刻刀・両刃のこぎりが使える。 ・友達の良いところを見付けられる。	
高学年	○ 小学校で身に付けるべき基本 (発音、ローマ字、アルファベットの定着) ・アルファベット(大文字・小文字)が書けるようにする。 ・絵と単語を組み合わせたカードを使って、単語を見る経験。(例)猫の絵⇄Cat)	○ 自力で楽譜を読む。 ・音楽ワークや、短時間でできる小テストを活用する。 ・音階を掲示する。(ハ長調・和音)	○ 材料や用具・表し方・発想や構想、作品に対する見方や感じ方で身に付ける事項 ・興行など空間を意識して表すことができる。 ・運動糸のこぎりが使える。 ・友達の良いところを見付けられる。	○ 生活に必要な基礎的な知識・技能の習得及び活用 ・共通のガイダンスシート(生活の営みに係る見方・考え方の明確化) ・自己評価カードの活用(自己の成長を表現) ・実践的・体験的な活動の充実 ・5年:小物作り、ランチョンマット ・6年:トートバック・ナップザックなど
中学校	○ 小学校で身に付けるべき基本 (発音、ローマ字、アルファベットの定着) ・フォニックスの学習を活用し、単語を見て発音できるようにする。	○ すらすら楽譜を読む。 ・活動の中で覚え、繰り返し指導する。 ・音階を掲示する。(ハ長調・和音など)	○ 材料や用具・表し方・発想や構想、作品に対する見方や感じ方で身に付ける事項 ・夢、想像など心の世界をもとに主題を生み出せる。 ・単純化・省略・強調・材料の組み合わせなどを利用した表現ができる。 ・デザインや工芸などの表現では、伝達の効果と美しさを兼ね備えている。 ・対話による鑑賞の経験から、作品に対しての見方や感じ方を深めることができる。	○ 生活の自立に必要な基礎的な知識・技能の習得及び活用(家庭) ・小学校とのつながりを意識したガイダンス ・自己評価・相互評価の充実 ・実践的・体験的な活動の充実 ・5年:マチ付きたためるエコバッグ ・生活と技術についての基礎的な知識・技能の習得及び活用(技術) ・実践的・体験的・対話的な活動の充実 ・問題発見・課題解決型の学習の充実
目標達成した子供の姿	コミュニケーション能力の基礎を育成し、自主的・主体的に発言することができる。	思いや意図を音楽で表現したり、共に味わったりして、学習や生活の中で音楽を楽しむことができる。	主体的に造形活動し、つくりだす喜びを人と共に味わうことができる。	身に付けた基礎的・基本的な知識・技能を活用して、生活の課題を解決できる。

話合いの順序	指導上の留意点	目指す児童・生徒の姿と評価方法
1 アイスブレイキング 2 開会の言葉 3 議題の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・活発な意見交換ができるような雰囲気をつくれるようにする。 	
<p><3校共通議題> 地域に貢献できる活動を目指す</p> <p>自分たちの学校に見られる課題は、同じ取組を考え、実践することで改善されてきました。</p> <p>今後は、笠原中学校区として、地域全体にも目を向け、貢献できる活動をしていきたいと考えました。</p>		
4 提案理由やめあての確認 5 各学校の発表 6 グループごとの話合い ① 出し合う ② 比べ合う ③ まとめる 7 グループで出し合ったこと の発表 8 各学校で振り返り 9 閉会の言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・前回のリーダー会議をもとに決定した本時の議題と提案理由を確認し、全員が話合いの見通しをもてるようにする。 ・実際に行った取組について発表し合う。 ・各学校のメンバーが集まった小グループを7つに編成し、それぞれのグループで活発な意見交換ができるようにする。 ・「出し合う」では、賛成・反対意見を述べるのではなく、様々な考えを発表する。 ・出てきた意見をもとに、「自分たちの学校に生かせる具体策はあるか」、「実現を可能にするために何ができるか」などの観点から話合い、よりよい考えを導き出せるようにする。 ・各学校同士や、地域と連携できる具体的な案を発表のために整理する。 ・考えの深まりや広がり分かるように、ホワイトボードやワークシートを用意し、視覚化できるようにする。 ・話合いの筋がずれてしまったり、意見が出なくなってしまうたりした場合は、各学校の指導者がグループに分かれて助言する。 ・それぞれの学校に戻り、話し合った内容の確認や検討を行い、課題解決に向けた今後の方向性について考えられるように助言する。 	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の課題を解決するための具体策を考え、根拠を示しながら意見を述べている。 <p>（観察・ワークシート）</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笠原中学校区をよりよくするために、進んで話合い活動に参加している。 <p>（観察）</p>

笠原中学校区 3校合同プロジェクト ～小中一貫 WEB 会議～

月日	笠原中	笠原小	寿小
6 /12 (金)	<p>【第1回WEB会議】Meet 使用 笠原中学校生徒会より、笠原小、寿小に今年度の活動方針の伝達をした。 ・あいさつ運動の強化・黙働の継続 ☆「一日一善」をして、支えてくれている人への感謝を伝える。</p> 		
6月 中旬	<p>【各校、リーダーミーティング】 WEB会議を受けて、それぞれに、各校で取り組んでいきたいことについて話し合いを行った。</p> 		
7 /12 (木) 昼休み	<p>【第2回WEB会議】Meet 使用 第1回WEB会議で提案のあった3つの取組について、各学校で考えた取組について意見交換を行った。</p> 		
7月 中旬	<p>【1学期各校での取組】 第2回WEB会議のあと、各学校では、実際に取り組みを行ってきた。</p> 		

8 /28
(金)

【第3回 WEB 会議】 ZOOM 使用

夏休み前に各校で行った振り返りの様子を報告し合った。他校の取組を聞くことで、9月からの活動への意欲へとつながった。



11 / 20
(金)

【第4回 WEB 会議】 ZOOM 使用

9月からの各校の取組を報告し合った。他校の取組への質問などもあり、WEB会議にも慣れてきて、話し合いがスムーズに進行した。



～2月

【2学期各校での取組】

1月のあいさつ運動は中止となったが、各校で支えてくれている人に感謝の気持ちを伝えようと話し合い、今年度のまとめに向けて取り組みを行った。



笠原中：あいさつ運動
(生徒会)



笠原小：人権ロゴの発表
(福祉委員会)



寿小：シトラスリボンプロジェクト
(企画委員会)

2/19

【第5回 WEB 会議】 ZOOM 使用

今年度最後のWeb会議。中学校3年・小学校6年のリーダーが振り返りを行い、次年度各校のリーダーが挨拶を交わし、リーダーの引き継ぎを行った。

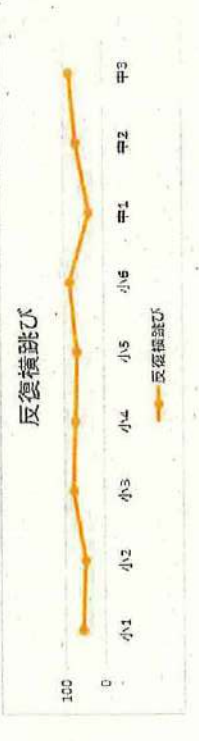
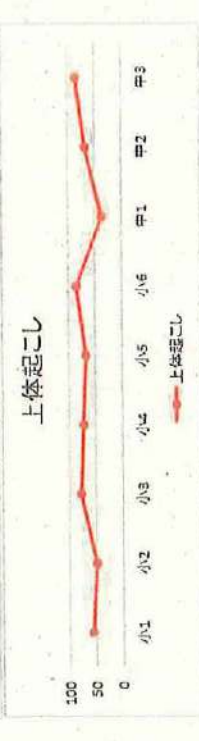
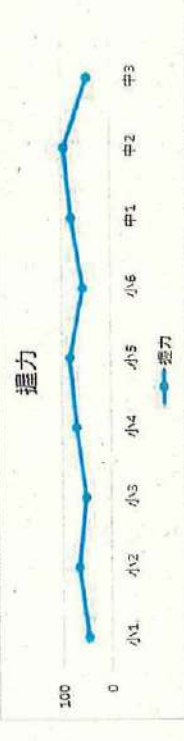
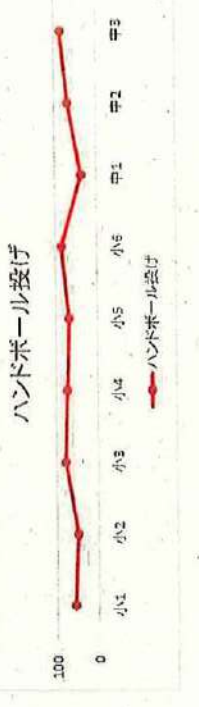
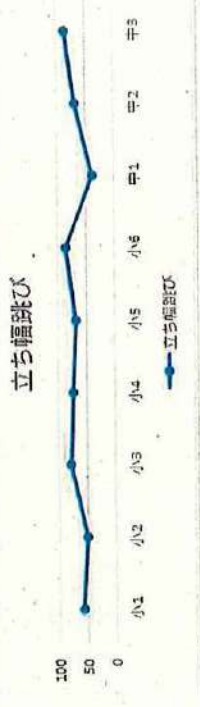


R2 笠原中学校区 体力テスト 分析シート(1スコア)

名前()

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ハンドボール投げ
小1	45	56	56	56	56	56	56	56
小2	65	49	49	49	49	49	49	49
小3	50	78	78	78	78	78	78	78
小4	70	73	73	73	73	73	73	73
小5	83	68	68	68	68	68	68	68
小6	55	85	85	85	85	85	85	85
中1	79	37	37	37	37	37	37	37
中2	93	68	68	68	68	68	68	68
中3	45	85	85	85	85	85	85	85

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び
小1	45	56	56	56
小2	65	49	49	49
小3	50	78	78	78
小4	70	73	73	73
小5	83	68	68	68
小6	55	85	85	85
中1	79	37	37	37
中2	93	68	68	68
中3	45	85	85	85





たいりょく きろくようし
体力テスト記録用紙

ていがかんよう
低学年用

ねん ぐみ なまえ
 年 組 名前

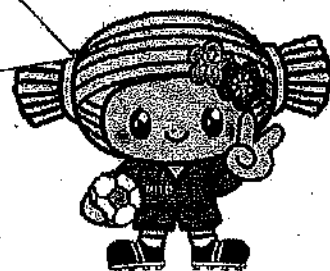
《 めあて 》

種 類 1. 身長 cm 2. 体重 kg

		さいこうきろく		きょ年の茨城県の へいさんきろく	てんすう
1. あくりょく	若	kg	kg	kg	kg
	左	kg			
2. じょうたいおこし			個	個	
3. ちょうざ たいせんくつ			cm	cm	
4. はんぶくよこどび			片	片	
5. 20mシャトルラン			個	個	
6. 50mそう			秒	秒	
7. たちほほとび			cm	cm	
8. ソフトボール投げ			m	m	
ごうけいの てんすう (先生に聞いてもらいましょう)					
総合評価 A B C D E					

	1年生	2年生
A	39より上	47より上
B	33~38	41~46
C	27~32	34~40
D	22~26	27~33
E	21より下	26より下

この表をみて、じぶんの総合評価のランクをかくにんしよう！
 もっと上のランクになるためにはあと何歳ひつようかな…。





たいりょく きろくようし
体力テスト記録用紙

3,4年用

ねん ぐみ なまえ
 年 組 名前

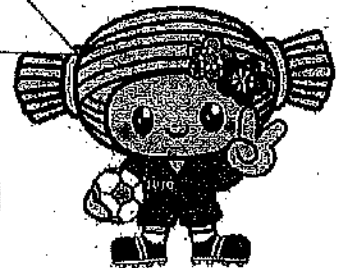
《 めあて 》

体 種	1. 身長	cm	2. 体重	kg
-----	-------	----	-------	----

		最高記録		きょ年の茨城県の へいさん記録	点 数	
1. あく力	若	kg	kg	kg		
	差	kg				
2. 上体おこし			個	個		
3. 長さ体ぜんくつ			cm	cm		
4. 反ぶく横とび			点	点		
5. 20mシャトルラン			個	個		
6. 50m走			秒	秒		
7. 立ちほとび			cm	cm		
8. ソフトボール投げ			m	m		
合計点数 (先生に聞いてみましょう)						
総合評価		A	B	C	D	E

	3年生	4年生
A	53より上	59より上
B	46~52	52~58
C	39~45	45~51
D	32~38	38~44
E	31より下	37より下

表を見て、じぶんの総合
 評価のランクをかくにん
 しよう！
 もっと上のランクにな
 るためにはあと何点必要
 かな…。





体力テスト記録用紙

5, 6 年用

年 組 名前

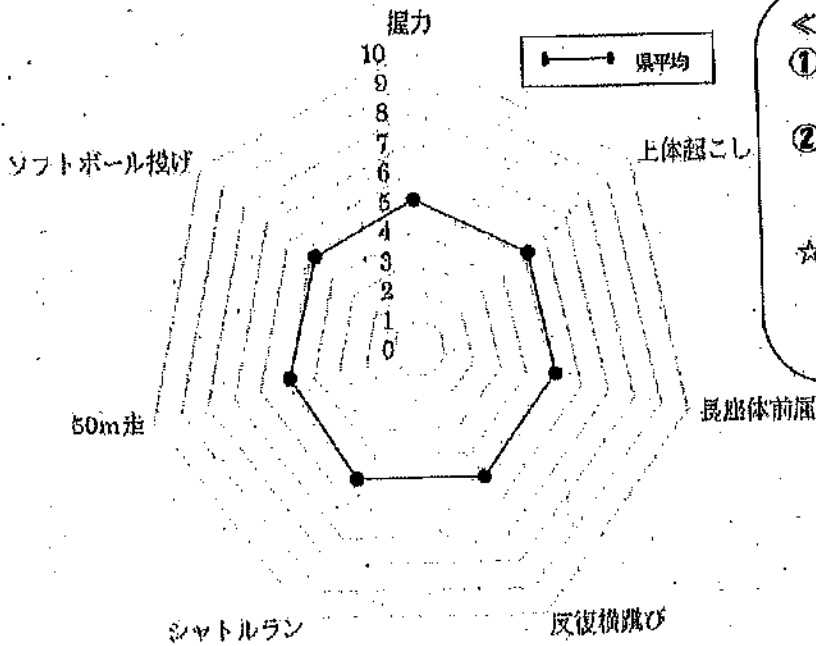
《 めあて 》

体 格 1. 身長 cm 2. 体重 kg

		最高記録		去年の県平均記録	点数
1. 握力	右	kg	kg	kg	
	左	kg			
2. 上体起こし			回	回	
3. 長座体前屈			cm	cm	
4. 反復横跳び			点	点	
5. 20mシャトルラン			回	回	
6. 50m走			秒	秒	
7. 立ち幅跳び			cm	cm	
8. ソフトボール投げ			m	m	
合計点数		総合評価		A B C D E	

《 体力テストの結果を自分で分析しよう! 》

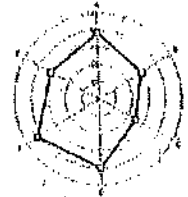
○ 体力テストの結果をグラフに記入して、自分の弱点や得意な項目を見付けよう!



《 分析グラフのかき方 》

- ① 種目ごとの自分の点数の点をグラフの線上に打つ。
- ② 種目ごとの点と点を直線で結び、下のような形にする

☆ 自分の記録の分析をして、どの記録かのぼせるか考えよう。



	5年生	6年生
A	65以上	71以上
B	58~64	63~70
C	50~57	55~62
D	42~49	46~54
E	41以下	45以下

笠原中学校区小中一貫教育

グランドデザイン

小中一貫教育目標

他者と協働しながら主体的に学び、目的をもって行動する児童生徒達の育成

笠原中学校

各校・各学級における
リーダーの育成

寿小学校

笠原小学校

学習
プロジェクト
学力アップ

中1・2・3年

小5・6年

小3・4年

小1・2年

学び合いを通して、多様な考えを比較・検討し、自分の考えをより深める

学び合いを通して、達成感や成就感を味わうとともに自分の考えを深める

互いに話し合うことにより、考えを深める

分からないことは周りに聞いて学ぶことができる

心
プロジェクト
あたたかい人間関係づくり

互いに認め合い、様々な場面で協力し助け合う

互いに信頼し、学び合つて友情を深め、男女仲よく協力し、助け合う

友達と互いに理解し、信頼し、助け合う

友達と仲よくし、助け合う

体
プロジェクト
体力アップ

自己の課題を発見し、学んだことを活かしながら、計画的に解決に努めることができる

自己の能力に応じた課題を見つけ、長所を伸ばしながら、課題を解決することができる

様々な運動に積極的に関わり、親しむことで自己の課題を見つけ、解決方法を工夫することができる

進んで体を動かし、楽しむことができる

中学校

小学校高学年

小学校低学年

教職員協働プロジェクト

指導力アップ

家庭・保護者

地域

活動実施内容 (通年・随時)

学習プロジェクト

- 学びのスタンダードの小中統一
(ミニテスト 振り返り 語彙ノートの活用)
- E S S部小学校訪問 ● 中学校職員出前授業
- 中学生学力向上サポーター



心プロジェクト

- 小中交流あいさつ運動 ● I C T教育
- リーダーWe b会議 ● 人権教育
- 各校のリーダー育成 ● ライフスキル学習
- キャリアパスポートの統一



体プロジェクト

- 3校共通サーキット・ランニングトレーニング
- ケーズデンキスタジアムでの持久走記録会(小)
- 体カテスト自己分析シートの活用,
克服トレーニングの実施
- 小学生陸上指導(中)
- 中学校部活動体験(小)



教職員協働プロジェクト

- HP, 各種便りによる情報発信
- 3校合同研修会 ● 3校合同引き渡し訓練
- 小中相互授業参観 ● 給食指導の統一
- 健康タイムの実施 ● 学校事務共同実施



月	活動内容	月	活動内容
4月	教 3校合同研修会 心 小中リーダーWe b会議	10月	教 学習状況調査の教科部員会 体 体カテストの分析会
5月	心 小中交流あいさつ運動	11月	心 小中交流あいさつ運動 学 中学生職場体験 体 小学6年生部活動体験 体 ケーズデンキスタジアムでの 持久走記録会(小学校) 教 笠原中学校区運営協議会
6月	学 中学校E S S部小学校訪問	12月	心 明るい街づくり発表 教 学習状況調査の教科部員会
7月	心 小中交流あいさつ運動 心 小中リーダーWe b会議	1月	心 小中交流あいさつ運動
8月	学 中学生学力向上サポーター 心 小中合同リーダー研修会 教 3校合同教職員研修会	2月	心 小中リーダーWe b会議 教 3校合同研修会
9月	心 小中合同We b会議 心 小中交流あいさつ運動 体 中学紙による陸上指導 教 小中合同引き渡し訓練		